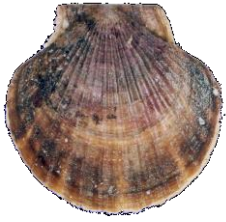


令和3年度ホタテガイ採苗情報（第7報）

令和3年5月25日



発行：岩手県水産技術センター
 協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
 関係漁業協同組合

唐丹湾で付着稚貝・ラーバ減少。綾里湾・広田湾で付着稚貝増加。

<調査結果の概要>

- 唐丹湾の水深10m層の水温は10.7℃で昨年度同時期と同程度となりました。透明度は12mでした。
- 唐丹湾において、ホタテガイ付着稚貝が103個/袋（採苗器5日間垂下）確認され、1週間あたりの付着数に換算すると減少しました（235個→144個/袋/週）。一方、付着直後の個体の割合は上昇しており（35%→52%）、付着は継続していると考えられます。綾里湾及び広田湾泊においては、付着数が増加しました。
- 唐丹湾のホタテガイラーバは、殻長200μm未満の小型個体が135個/m³、200μm以上の大型個体が57個/m³確認され、ラーバ数は減少しましたが（338個→192個）、大型個体は継続して確認されています。

<宮城県の状況（5月20日発行ホタテガイ採苗通報（第5報））>
 ラーバは小型～大型が確認。大型はわずか。
 付着稚貝は継続して確認。

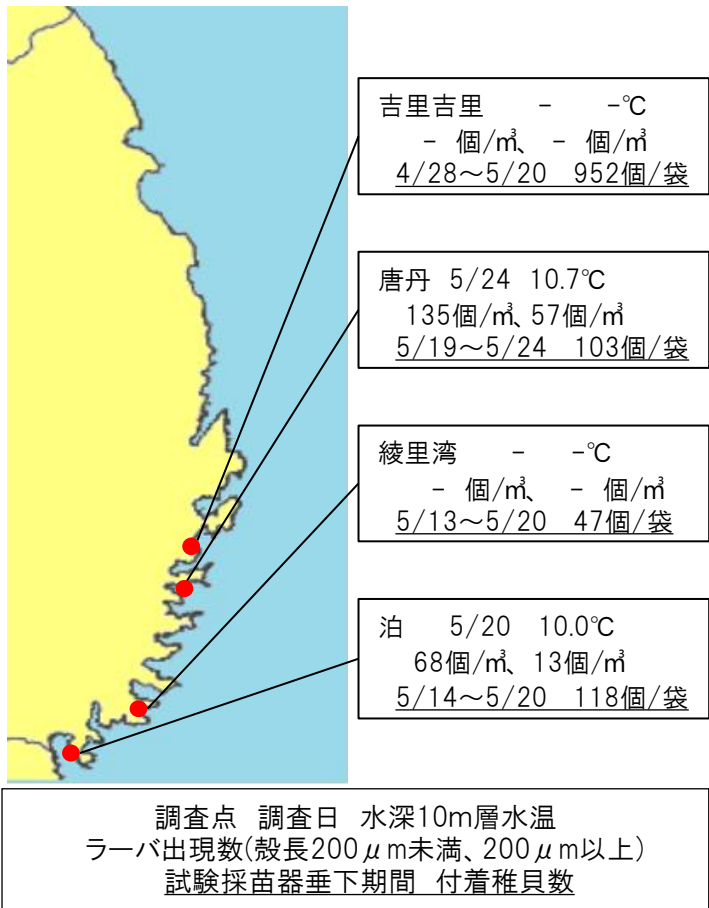


図1 各定点の調査結果
 (国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、6月1日頃に
 発行する予定です。

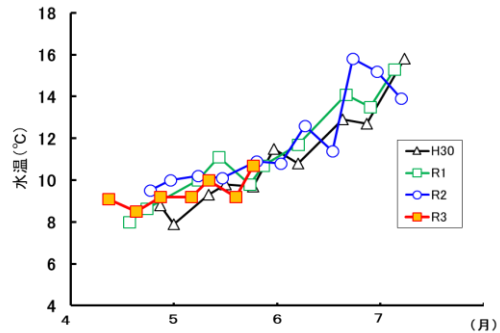


図2 唐丹湾における水深10m水温

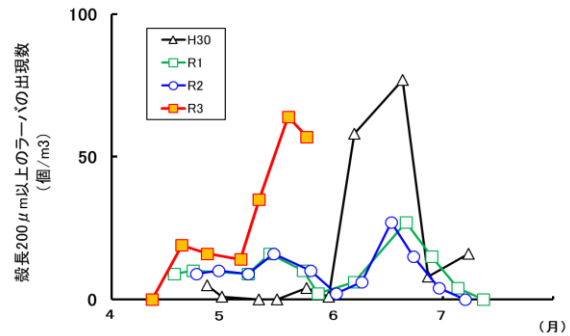


図3 唐丹湾における殻長200μm以上ラーバ出現数

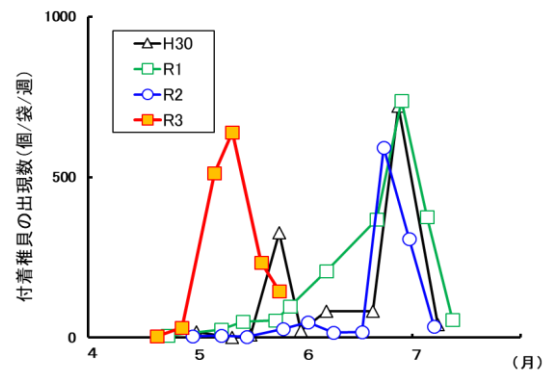


図4 唐丹湾における1週間あたりの付着数